

第2872回 例会 令和4年10月27日(木)

出席委員会委員長	神谷正康
会員総数	22名
本日の出席者(免除者)	17名(3名)
本日の出席率	80.9%

会長あいさつ

会長 早川比呂太 君

皆さん、こんにちは。本日の卓話者は地区米山記念奨学委員会の伊藤健敏君です。それと米山奨学生のキムジュヨンさんです。キムジュヨンさんにも後ほど近況報告をしていただきます。先週の例会で篠田さんがお話ししていたように、コロナの感染者がフランスでは10月中旬が下げ止まりで、その後は増加をしていくという予測が出ていましたが、愛知県もBA5対策強化宣言を解除しましたが増加傾向にあります。前週との比較数字を見てみると確かに増加していることが分かります。そんな中先週第5回目のワクチン接種券が届きました。4回目から5ヶ月後を目途に5回目の接種券を発送すると言っていましたが、3ヶ月後に変更になったことから送られてきたものと思います。私は4回とも藤田医科大学岡崎保健センターで接種していますのでモデルナばかりです。5回目もモデルナの予定です。

今週のスマイル

親睦委員長 田中三千雄 君

地区米山記念奨学委員会 伊藤健敏君(豊川RC)

地区米山記念奨学会の報告をさせていただきます。

早川比呂太君 伊藤様、金注延さん、本日はお話し楽しみにしております。

渡邊 徹君 伊藤様ようこそ西尾一色RCへ。本日はよろしくお祈りします。

鳥居万里君 伊藤様ようこそ西尾一色RCへ。また本日は金注延さんよろしくお祈りいたします。

牧野美恵君 伊藤さんようこそ一色RCへ。ジュヨンさん、お話し楽しみです。

山下民義君 地区米山記念奨学委員会伊藤様、今日の卓話楽しみです。

池田榮三君 伊藤健敏様ご苦労様です。卓話よろしくお祈り致します。

藤井知明君 米山記念奨学委員会伊藤様、本日はよろしくお祈りします。

尾崎三枝子君 伊藤様ようこそ西尾一色RCへ。

田中三千雄君 伊藤様、ジュヨンさんよろしくお祈りします。

10件 20,000円

本日の卓話

「米山奨学事業と寄付増強へご協力をお願い」

地区米山記念奨学委員会 委員 伊藤健敏 君



2760地区米山記念奨学委員会委員を務めております伊藤健敏でございます。

日頃は米山記念奨学会の活動並びに2760地区米山記念奨学委員会の活動にご理解とご協力いただきまして誠にありがとうございます。

先ほどご紹介がりましたが、私は豊川RCから地区委員会に出向させていただいております。

西尾一色ロータリークラブ様へは、この度初めて伺う機会を頂きましたことに感謝申し上げます。ありがとうございます。

簡単に自己紹介いたします。職業分類は建設・設計でRC入会は2014年となります。入会からまだ7年の若造でして、米山記念奨学委員会への出向1年目でございます。今月米山月間に入って色々なクラブを訪問させていただきますが、若輩で不慣れな卓話の機会でございますので、皆様方の温かい友愛の気持ちで見守り頂きたくよろしくお願い申し上げます。

さっそくですが、2021年度22年度の米山記念奨学委員会・奨学生を中心にした事業の報告でございます。4月のオリエンテーションから始まりまして、春の企業見学、秋の歴史研修、そしてクリスマス会、3月の卒業式、と1年間続いて参ります。その間に奨学生の選考などもございますが、そのところはお手元の米山記念奨学制度の豆辞典がございますので、そちらをご参照いただきたいと思います。

この米山記念奨学金の対象者は将来の日本と海外の友好の架け橋になりうる外国人留学生となっております。特徴としては、ロータリーの各クラブには世話クラブをお願いし、そしてカウンセラー制度を持ち、人の交流を重視した奨学金制度となっておりますので、毎月1回クラブの例会への参加は義務となっております。例会で直接奨学金を受け取り、そしてロータリアンの皆様と交流しながら奨学生生活を送るという事になります。滞在費用の捻出のためにアルバイトに汲々とすることなく勉学と日本の理解・国際交流に勤しんで頂くという主旨となっております。

米山奨学生の情報ですが、現在2022学年度この4月

からでは、全国で 898 人が奨学金を受けております。累計では 2 万 2875 人となり、日本では一番大きな奨学金制度となっております。

奨学生の選考は全国統一した基準で選考しております。

- ①留学の目的・あるいは将来の目標、
- ②交流への熱意、
- ③人間性・人柄、
- ④コミュニケーション能力、

この 4 つが全国統一した選考項目になります。

それ以外に地区採用基準としてこの 2760 地区では「日本語が喋れること、日常の対応ができること」をあえて追加して設けております。

各 RC へ世話クラブをお願いするにあたり、どなたでも会話が出来る＝「ロータリアン皆様と交流ができる事」を最低限必要な事として考えています。クラブではカウンセラーの方だけが面倒を見るのではなくて、皆様全員で面倒を見ていただきたいと思ってそんな項目を入れております。

そして、2760 地区では本年 2022 学年度では 53 名の奨学生を引き受けております。この 53 名の出身国は中国からの 21 名が最多となっておりますが、アジア圏に縛られることなく全世界 12 カ国から集まっています。遠くはイタリアから 1 名、東アフリカのルワンダから 1 名、キム・ジュヨンさんの母国韓国からは 8 名、モンゴルから 7 名、ベトナムから 6 名、ネパールから 4 名、その他インドネシア・ウズベキスタン・タイ・マレーシア・台湾からも引き受けています。

ガバナー事務局と 2760 地区米山記念奨学委員会といたしましては、今後も様々な国から奨学生を受け入れたいと思っていますし、皆様にもいろいろな国の色々な学生さんと接していただけることで、また新しい友好の形になるものと考えています。

次年度奨学生も 53 名を予定しております。2760 地区全 84 クラブのうちの 53 クラブをお願いしてお引き受けいただく形になります。単年度で見ますと半分以上のクラブさんに世話クラブをお願いしている現状でございます。本当にご無理を申し上げる状況ですが是非引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

奨学生を決めるにあたっては既に現在選考活動が始まっています。例年約 130 名程度の応募があり、応募者全員をいくつかのグループに分けてガバナー・ガバナーエレクトを含めた複数回の個人面接を経て約 35 名前後の奨学生を新たに選んでいます。

西尾一色ロータリークラブでお世話いただいている

「キム・ジュヨン」さんも狭き門をくぐり抜けてきた優秀な学生さんなので、西尾一色ロータリークラブ様での交流を楽しんで頂き、三河地区を知って頂き、将来の続く交流・友好へ繋げていただくような活動をお願いできればと思いますので引き続きぜひよろしくお願いいたします。

最後に寄付金のお願いをさせていただきます。

米山記念奨学制度には 1 年間に全国で約 13 億 4000 万円の寄付がございます。普通寄付は会員の会費として集めるお金の中から頂くものになります。特別寄付は普通寄付とは別に各個人から任意に頂くものとなります。米山記念奨学制度の財源はこの 2 本立てになります。いただいた寄付はほぼ全額が学生の奨学金となっております。管理費等は基金の利子収入から支出しますので、皆様からいただいた浄財に関しましては全て奨学生のために使っているのが現状でございます。そして寄付実績ですが、ロータリアン一人あたり全国平均、1 万 5171 円に対して、2760 地区は一人あたり 1 万 5126 円です。受け入れ奨学生人数 53 名は全国でトップクラスの人数ですが、寄付実績は平均値付近と少々残念な形となっております。

西尾一色 RC さんでは昨年度で 8 万円の寄付をいただきまして、累計 2000 万円を超える金額となっております。誠にありがとうございます。ただ、非常に残念なことに特別寄付は 0 万円となってしまっております。諸般の事情はございますがぜひ奨学制度の財源となる寄付金増進に引き続きご協力をお願いできればと思っております。寄付金につきましては税金上の優遇もございますのでぜひよろしくお願い申し上げます。

ここまで簡単ではございますが米山記念奨学委員会の活動のご紹介と寄付金増進のお願いをいたしました。

ここからはキム・ジュヨンさんにお話をさせていただきます。

米山奨学生 金注延(キムジュヨン)さん卓話





俳句同好会より

句会が10月20日（木）に開催されました

一粒が 青みがかった 新人（しんまい）だ 篠田義隆
 姉の秋 終活ノートに 「楽しかった」 神谷たまご
 秋野菜 お前はジャマだ テントウダマシ 山下民義
 梔子や 駒音高く 地味な術 鳥居萬里
 もう一杯 新米食べて 上機嫌 露月
 サンマ焼く 大根おろし だし醤油 満月入道
 坂道で 自転車追い抜く 赤トンボ 近藤美心



米山奨学生 金注廷（キムジュヨン）さんに
 奨学金をお渡ししました。



第3回米山功労者
 鳥居萬里君



米山寄付クラブ表彰
 （60周年記念）